

## ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

## 支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

## 礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局  
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201  
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817  
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



日本からパソコンが届きました!(フィリピン)

新春のお慶び申し上げます。

昨年は「オリンピックの年」と言われるのが本来と思われましたが、予想に反して「コロナの年」と言われる状況となり、日本を含め、世界中の経済は大打撃を受けました。

2021年が始まり、今年こそオリンピックを、と大勢の方が期待しておりますが、日本はコロナの第三波が猛威を振るい、私が居住している旭川では、コロナ対策として自衛隊が災害派遣されています。いままで自衛隊の災害派遣は数多くありましたが、病気を災害として認定しての派遣は今回が初めてとされています。まさに、今まで無かったことが起こり始めている年、と言えましょう。

このような激動の中、皆様の御支援、御協力、本当に感謝致します。世界が変動していく中、子供達は立派に成長しています。これも皆様の御協力お陰であり、今一度、感謝致します。ただ、これからの世の動向を見るにあたり、色々なかたちで、支援しなければならない子供達が増えてくるとも思われます。

2021年が子供達にとって、幸いな年となるように願って止みません。

そして今年も皆様と共に、一人でも多くの子供達を助けて行きたいと思っています。

どうぞこれからも皆様の御支援、御協力、何卒よろしくお願い申し上げます。

## カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアブスワ!(こんにちは!)  
『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。11月末に予定通りに行われた2日間の高校入試を受けた9年生のCは、無事合格する事が出来ました。また、大学で学んでいるYOは、2年生で受けた前期後期試験の結果が出て、両方ともに合格していたという報告を受けました。今年は大学3年になり、継続して学ぶことが出来ています。ご支援頂いている皆様にご報告をすることが出来て、私達も嬉しく思っています。11月末頃からカンボジア国内でCOVID-19の市中感染が広がって来た為、学校は再び休校となりました。子ども達は、学校から出される課題をスタッフ達の助けも受けながら、日々孤児院内で学んでいます。最近、4歳の女の子が夜中、高熱になり、病院に行きましたら、入院となりました。しかし、治療後、すぐに退院する事が出来ました。温度差に弱い方もカンボジアでは多いようで、他の子たちも守られるよう願っています。2020年は大変厳しい中、皆様からの多くのご支援を頂きまして、本当にありがとうございました。2021年の新しい年に神様の祝福が豊かにありますように、お祈り申し上げます。



高校入試に合格したC(写真中央)と  
両サイドは高校卒業試験を控えている12年生の2人です

## フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援を心から感謝致します。日本のNPO団体Class for Everyoneの皆様を通して送って頂いたPCの内、現在22台を受け取ることが出来ています。また、皆様のご支援により、学用品や、子どもたちの宿題や課題、答えを書いたプリントなどを学校へ持って行く(保護者が提出)ためのストレージボックスを購入することが出来ました。ご支援を心から感謝致します。現在、行政命令によりクリスマスパーティーなどの集まりは一切禁止されているので、毎年行われる学校のクリスマスパーティーも無く、子どもたちは今年はプレゼントがもらえないとがっかりしています。子どもたちが毎年楽しみにしている、礎の石就学支援生が全員集まる年末感謝パーティーは出来るかと子どもたちが聞いて来ます。実際に集まることはもとより、山岳部の子どもたちはまだインターネットに繋ぐものが無いので、オンラインで行うことも難しい状況です。厳しい状況が続いているので、出来ることなら年末感謝パーティーの代わりに米や缶詰め等の食料品を少しでも子どもたちに届けられたらと願っています。皆様の暖かいご支援を心から感謝致します。2021年も引き続き皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



スタッフのエレノアとストレージボックス

## ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の尊いご支援に、心より感謝申し上げます!  
20人でスタートした孤児のための学校は、来年1月の新学年スタートと共に40人に増やす事になっています。非常な貧困状況に置かれていて、お腹を空かした孤児達への教育支援は、一日二回の給食支援とセットです。孤児たちの健康を守り、その命を慈しむ。そうしてこそ、教育支援が実り多いものとなると信じています。ザンビアは11月に債務不履行となり、物価は日々上がってきています。今後更なる飢餓と、暴動の発生等社会的混乱が起きることが予想されていますが、そのような状況でこそ、わたしたちの働きが必要であり、更に多くの孤児たちを支援できるように、備えなければなりません。しかしながら、現在のところ必要とされている教員の増強費、給食費、トイレの増設費、食堂とキッチン建設費等が不足している状況です。どうぞ皆様の更なるご協力とご支援を心よりよろしくお願い致します。



学期末テストの返却の様子  
ご寄付で頂いた服や靴なども配布しました

## ブラジル孤児院レポート

松本弘子

皆様のご支援をありがとうございます。  
最近よく雨が降り、空気も潤ってきて、気温も最高33度くらいまで、過ごし安くなっています。クリスマスが近づいてきているので、以前プレゼントをしていた市内の児童養護施設に連絡を取ってみました。予算を言ったら、ブラジルでは家の中での上履き用のビーチサンダルのご指定がありました。秘密で子供たちの名前と靴のサイズを教えてくださいました。市内で新しくできて安いと噂の卸売りスーパーに行ってみました。とても広くて、人もまばらで、レジに誰も並んでいませんでしたが、とにかく安い! 必要な品物を、中心街で買った場合の値段の半分近い値段で買うことができました。家で一個ずつプレゼント用に包装していると、昔『あしながおじさん』という本が好きで読んでいたことを思い出し、自分があげる側になって嬉しくなりました。さらに孤児院の働きにつながる活動をしていくことができますよう願っています。



スーパーで買い物をする松本さん